

広島県医師会独自の 広報戦略室の提言を活かした SNS広報の強化

一般社団法人 広島県医師会



HIROSHIMA_MEDICAL_ASSOCIATION

1/6

広島県医師会 「広報戦略室」とは

広報戦略室は、広島県医師会の理念や事業について県民の理解を深めるため、戦略的かつ効果的な広報活動について検討する場として設置されています。

主な目的は以下の通りです。

- 本会の広報活動を客観的に評価し、基本的な方向性を協議・提言すること。
- 官・学・民一体の「オール広島」の体制のもと、効果的な広報戦略を検討すること。
- 広島県医師会が伝えたい情報と、会員や県民が知りたい情報のギャップを埋めること。

構成メンバー(官・学・民のプロフェッショナル)

官: 広島県の広報課担当者

学: 広島大学の広報担当者

民: 新聞社(中国新聞)、放送局(NHK、広島テレビ)、広告代理店(電通西日本)

医師会: 会長、副会長(広報戦略室長)、担当理事(広報戦略室、広報)、広報委員長

2/6

SNSに関する広報戦略室からの主な提言

① ターゲットを意識した発信

- ・誰に届けたい情報なのかを明確にし、対象に合った方法で発信する
- ・医師会が伝えたい情報と、県民が知りたい情報とのギャップを意識する

② 親しみやすい発信

- ・医療情報だけでなく、日常的で身近な内容も取り入れる
- ・SNSの発信トーンを柔らかくし、幅広い層が関心を持ちやすい発信を行う
- ・内容を厳選しすぎず、積極的に投稿する

③ 医師会の認知度向上

- ・まずは多くの県民に「広島県医師会」を知ってもらうことを意識する
- ・医療現場の実情なども発信し、医師会や医療への理解につなげる
- ・記念日等を活用し、関心を得やすいタイミングで発信する

④ 外部との多角的な連携

- ・行政、テレビ局、新聞社等の公式SNSとの共同投稿を活用する
- ・インフルエンサーとのコラボレーションも検討する
- ・新聞社や県行政などから最新の効果的な投稿方法を学ぶ

3/6

広報戦略室の提言から生まれた定期投稿企画

① 広島県感染症発生動向週報（毎週金曜日投稿）

毎週木曜日に広島県が公表する感染症発生動向の概要に、本会からのメッセージ（固定）を添えて発信している。

インフルエンザ警報発令中

広島県
感染症発生動向週報

令和8年第8週
(2/16~2/22)



一般社団法人 広島県医師会
HIROSHIMA Prefectural Medical Association

今週のポイント

増えている感染症 ↑

急増（前週比2倍以上）
該当なし

増加（前週比1.5~2倍）
・咽頭結膜熱



一般社団法人 広島県医師会
HIROSHIMA Prefectural Medical Association

広島県感染症発生動向週報

令和8年2月16日~2月22日

感染症	発生数	前週比	前々週比	前々々週比
インフルエンザ	1,234	1.5倍	2.0倍	1.8倍
咽頭結膜熱	567	2.1倍	1.9倍	1.7倍
水痘	123	1.2倍	1.1倍	1.0倍
麻疹	45	1.3倍	1.4倍	1.2倍
百日咳	78	1.6倍	1.5倍	1.4倍
その他	90	1.1倍	1.0倍	0.9倍

【本会からのメッセージ】

令和8年2月16日~2月22日

一般社団法人 広島県医師会
HIROSHIMA Prefectural Medical Association

・発熱や強い症状がある場合は、無理をせず早めに医療機関へご相談ください

・マスク着用、換気、手洗いなど、基本的な感染対策を心がけましょう



一般社団法人 広島県医師会
HIROSHIMA Prefectural Medical Association

4/6

広報戦略室の提言から生まれた定期投稿企画

②“まこと”に知りたい医療の話（毎月最終水曜日投稿）

松村誠会長を前面に出し、その時々旬な医療情報を発信している。柔らかいトーンと親しみやすいデザインを意識し、医師会を身近に感じてもらえるよう工夫している。発信内容は、担当役員と広報委員会委員が確認している。

広島県医師会長 松村 誠が
気になる医療情報を発信

“まこと”に知りたい医療の話
第1回
RSウイルスワクチン
～おなかの赤ちゃんへの
「最初のプレゼント」～



RSウイルスワクチン定期接種化

令和8年度から
RSウイルス感染症に対する
母子免疫ワクチンが
定期接種になりました。



乳幼児では重症化することも

RSウイルス感染症は
・2歳までのほぼすべての
乳幼児が感染すると
されています
・初めて感染した乳幼児の
約7割は軽症



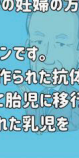
乳幼児では重症化することも

・一方で乳児期早期や
基礎疾患がある場合は
細気管支炎や肺炎と
なって重症化することが
あります



定期接種の対象と使用ワクチン

・定期接種の対象
接種時点で、妊娠28週0日
～36週6日までの妊婦の方
・使用ワクチン
母子免疫ワクチンです。
お母さんの体で作られた抗体
が、胎盤を通じて胎児に移行
することで、生まれた乳児を
守ります。



ワクチンの効果

・RSウイルスによる
受診が必要な感染症を
5～6割程度予防し、
重症化は
7～8割程度予防する
効果が期待されています。



かかりつけの産婦人科医に相談を

・接種を受けられる方は、
かかりつけの産婦人科医に
ご相談ください。
・また、制度の詳細は市町に
お問い合わせください。



広島県医師会

5/6

広報戦略室の提言から生まれた定期投稿企画

③広島県高度医療・人材育成拠点（新病院）建設予定地定点観測（毎月1日）

広島県医師会の隣接地に建設予定の広島県高度医療・人材育成拠点（新病院）について、建設予定地の様子を定期的に発信している。現在は着工前のため月1回とし、工事開始後は投稿頻度を増やす予定である。将来的には、定点観測画像により、着工から完成までの建設過程を振り返ることができるようにしたい。



〇SNS広報強化の成果

- ・Instagramフォロワー数
315名（令和6年11月15日）
→ 568名（令和8年8月27日現在）
- ・投稿数
32件（令和6年度）
→ 58件（令和7年度）

どちらも約1.8倍に

6/6